

ピレネー地方における家制度：近世期以来の伝統と慣行

2011年日本

マリー＝ピエール・アリザバラガ

スライド2

1 家制度

1 定義

- ・ 家族の単位：1世帯と1家族。家系・血統・家名
- ・ 社会単位：1つのコミュニティにおける1つの個人集団
- ・ 経済単位：長い時間を経て生存するための、家屋・建築物・土地つきの労働および生活空間

スライド3

2 諸慣行による家制度

- ・ 小財産所有権および限定的環境資源
- ・ 兄弟間の分配なし
- ・ 単独相続
- ・ 一子への家屋および土地の譲渡
- ・ 家系およびコミュニティの環境-人口動態均衡を維持すること
- ・ 分配＝破産
- ・ 諸規制：相続者は1人。配偶者の嫁資。両親および相続から排除された

兄弟の扶養

スライド4

3 単独相続者の選択

- ・ Basque country, Lavedan, Bareges : 男子あるいは女子単独相続
- ・ Bearn and Baronies : 男子単独相続
- ・ French Catalonia : 男子いずれでも

スライド5

4 相続者の結婚および配偶者の嫁資

- ・ 結婚により完全相続
- ・ « Maître jeune » ou « maîtresse jeune »
- ・ 新旧の主人が諸決定を共有
- ・ 配偶者は嫁資を（現金で）持ち込む
- ・ 彼あるいは彼女の身分は平等：族内婚
- ・ 嫁資は兄弟をもう1つの家屋に住ませるのに用いられる
- ・ 第1子の誕生後にのみ用いられた
- ・ 「試し婚」
- ・ « Couvades »

スライド6

5 諸慣行による諸義務

- ・ 家屋の維持および瑕疵無しの譲渡

- ・ 兄弟を落ち着かせるために貯蓄を
- ・ 両親の家屋・供食・扶養
- ・ 相続外で独身の兄弟の家屋・供食・扶養
- ・ 直系家族世帯の形成

スライド7

II 直系家族制度

1 直系家族世帯形体

- ・ 両親・相続者・配偶者・子ども・独身の兄弟の同居
- ・ 年老いる家族構成員の若い世代による世話
- ・ 死亡まで全ての人間がその家屋に住む
- ・ 死亡までの世話および保護

スライド8

2 直系家族形体の安定化効果

- ・ 多世代にわたる自己再生産
- ・ 1世代I相続者
- ・ 家長権および相続権
- ・ 独身兄弟は潜在的代替要員
- ・ 独身兄弟は事故あるいは死亡の場合に家を継続することを保障した
- ・ コミュニティの環境-人口動態的安定
- ・ 安定的経済要因

スライド9

III 家制度

1 1804年民法

- ・ 1789年8月4日における全ての特権の廃止
- ・ 単独相続の違法化
- ・ 兄弟間での平等な分配の義務づけ
- ・ 家制度および直系家族の終了
- ・ Frédéric Le Play 不平等相続
- ・ ピレネー住民は単独（不分割）相続を続けるために法律を迂回した
- ・ どのように？いくつかの事例研究

スライド 10

2 相続者の選定のための新戦略

- ・ 過去と同様の完全な相続はなし
- ・ 家と血統を守るために家族内の新たな戦略および新たな規則
- ・ 各々の子どもが彼あるいは彼女の取り分を要求する恐れ
- ・ 子どもの数を少なくする。2・3人の子どもで完全相続を守るため
- ・ 単独の相続者が受け取ったのは、

1/4 結婚にもとづく取り分（子どもが3名の場合）

1/4 配偶者の嫁資による取り分

1/4 法的な取り分

1/4 独身の兄弟からの取り分（寄付として）

- ・ 子どもの数が増えると困難が増す
- ・ 早期の代償＝より安価な代償

スライド 11

3 相続から排除された兄弟への代償

- ・ 子どもが 4 名以上いた場合
- ・ 相続についてより低い代償、しかし人生の早い段階で
- ・ 貯蓄あるいは借金による代償
- ・ 早期の、低い代償は制度を守った。
- ・ アメリカが制度を救った。
- ・ 女性の犠牲
- ・ すべては分配すなわち破産を避けるため

スライド 12

IV 家制度についての結果

1 相続者に関する法律についての結果

- ・ 両親は彼らが死亡するまで家について完全な管理権を持っていた。
- ・ 相続者：部分的な所有であり、完全な所有ではない
- ・ 相続者は両親の死亡までは相続を待たねばならなかった
- ・ 彼らは兄弟が結婚のため家を去るまで待たねばならなかった
- ・ 代償により、負債が増大
- ・ 女性による相続が増えた（第 1 子あるいは末子）
- ・ だが、制度は今日まで残る

スライド 13

- 2 相続から排除された子ども達をめぐる法律についての結果
- ・ 平等相続への権利授与
 - ・ より大きい自由
 - ・ 都市化・工業化・移出
 - ・ 男性はアメリカへ
 - ・ 女性はフランス諸都市へ
 - ・ 全ての者がより大きな独立性を有した
 - ・ その結果ピレネー地方では人口減
 - ・ だが、家制度が死に絶えるほどではない。